

委託事業実施内容報告書
平成29年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
【地域日本語教育実践プログラム(B)】

実施内容報告書

団体名：NPO法人多文化共生教育ネットワークかながわ

1. 事業の概要

事業名称	高校や大学と連携による若い世代の日本語ボランティア活動の普及と外国につながる子ども・若者のライフコースに沿った日本語教育支援体制の構築
事業の目的	当団体がこれまで文化庁の委託事業（「生活者としての外国人」のための日本語教育事業 地域日本語教育実践プログラム(A)）の実績により構築された、幅広い地域連携を生かして、高校生や大学生（外国につながる当事者も含む）の活用による外国につながる子ども・若者のライフコースに沿った日本語教育支援体制の構築を図ることを目的として実施した。また、連携によってさまざまな団体との連携が構築し、セミナーなどの成果を発信する場を作り、先駆的な取り組みとして他地域にも広げることを目的として実施した。
日本語教育活動に関する地域の実情・課題	神奈川県北部地域（相模原市、大和市、座間市、海老名市、厚木市、綾瀬市等）は、定住する外国につながる子どもたちや若者が数多く生活している地域である。そのルーツは、中国、フィリピン、ブラジル、ペルー、ベトナム、カンボジア、ラオス、タイ、アメリカ、パキスタン、ネパールなど10数各国に及ぶ。しかしながら、大人向けの日本語教室はいくつかあるが、子どもや若者向けの日本語教室はほとんど無い地域である。また、地域の日本語教室の課題として上がっていることは、「ボランティアが集まらない」とか「ボランティアの高齢化」などである。こうした状況を踏まえ、当団体は高校や大学と連携した「相模大野教室（CEMLA）」を外国につながる子ども・若者向けに特化した日本語教室として2009年から実施してきた。
本事業の対象とする空白地域の状況	
事業内容の概要	これまで文化庁の委託事業（「生活者としての外国人」のための日本語教育事業 地域日本語教育実践プログラム(A)）の日本語教室の運営を継続しながら、高校・大学・行政機関・地域との幅広い連携のモデル事業として、運営面、人材育成面、地域連携面から地域の日本語教室や他の地域への発信を目的として、次の4つの事業に取り組んだ。 取組1：高校・大学と連携した学生ボランティア中心の活気ある日本語教室（相模大野教室CEMLA）の実施 取組2：高校・大学と連携した学生ボランティア中心の活気ある日本語教室（相模大野教室CEMLA）における実践を通じた人材育成 取組3：行政機関と学校（中学・高校・大学）と地域を結ぶライフコースに沿った日本語教育整備のための連絡協議会、研究会、セミナーの実施 取組4：高校生や大学生ボランティアのための「研修用ビデオ教材」の作成と啓発
事業の実施期間	平成29年5月～平成30年3月（11か月間）

2. 事業の実施体制

(1) 運営委員会

【運営委員】

1	永谷 直子	相模女子大学
2	田中暁龍	桜美林大学
3	時乗 洋昭	神奈川県教育委員会
4	森 美香	相模原市教育委員会
5	千葉光希子	神奈川県立弥栄高等学校
6	杉山 肇	神奈川県立相模原青陵高等学校
7	角田 淳	神奈川県立相模原青陵高等学校
8	永井 慈史	神奈川県立相模原青陵高等学校
9	西川富貴子	さがみはら国際交流ラウンジ
10	富本順子	かながわ国際交流財団
11	高橋 徹	多文化共生教育ネットワークかながわ
12	高橋 清樹	多文化共生教育ネットワークかながわ



【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題及び検討内容
1	平成29年6月15日 (木) 15:00～17:00	2時間	相模女子大学	永谷直子、田中暁龍、時乗洋昭 森美香、千葉光希子、杉山肇 角田淳、永井慈史、西川富貴子 高橋徹、高橋清樹 (他にオブザーバー参加者あり)	1. 平成29年度の事業計画の説明と進捗状況の報告 2. CEMLA 研究会及びCEMLAセミナー（取組3）の実施計画についての検討 3. CEMLA教室の生徒の状況や日本語教育プログラムについての意見交換
2	平成30年1月18日 (木) 15:00～17:00	2時間	相模女子大学	永谷直子、時乗洋昭、森美香 坂本万里、杉山肇、角田淳 永井慈史、西川富貴子 富本順子、高橋徹 (他にオブザーバー参加者あり)	1. 平成29年度の事業の進捗状況の報告 2. 平成29年度の事業の総括と平成30年度の事業計画についての検討 2. CEMLA 研究会及びCEMLAセミナー（取組3）の実施報告 3. CEMLA教室の生徒の状況や日本語教育プログラムについての意見交換

(2) 地域における関係機関・団体等との連携・協力

連携体制	当団体は、県教育委員会を始めとして、市町村教育委員会、中学、高校、大学との連携を幅広く行っており、地域の日本語教室等とも連携してきた。また、さがみはら国際交流ラウンジ、横浜市国際交流協会、かながわ国際交流財団、かながわ県立国際文化アカデミア、あーすプラザなどとも連携してきた。特に本事業では、場所や人材提供を、相模原青陵高等学校、日本語教育の専攻学部を持つ相模女子大学、桜美林大学と密接に連携して行った。また、県内の若者サポートステーションとの連携で社会参加が困難な外国につながる若者の相談を定期的に行った。
------	--

(3) 中核メンバー及び関係機関・団体による本事業の実施体制

本事業の実施体制

各取組みに対しての中核メンバーおよび指導者が次の役割や実施体制をとって実施した。

「取組：1」 指導グループ4つに対して、指導補助者（高校生や大学生）が4～5名に対し、指導者4名と「取組：2」を含めた指導者4名を置き、指導や助言を行う体制をとった。後者の指導者4名のうち3名が中核メンバーである。

「取組：2」「取組：1」での指導補助者への指導助言・研修を行う目的で指導者を4名置き、実施した。そのうち3名が中核メンバーである。

「取組：3」 高校や大学や行政機関地域の日本語教室など支援団体との中で、高橋徹や高橋清樹が中心となって連絡協議会や研究会やセミナーの運営に当たった。

「取組：4」「取組：2」の指導者3名が中心となって「研修ビデオ教材」の作成に当たった。

3. 各取組の報告

＜取組1＞									
取組1	取組の名称		高校・大学と連携した学生ボランティア中心の活気ある日本語教室(相模大野教室CEMLA)の実施						
	取組の目標		来日間もない外国につながる子ども・若者や小中高校で孤立しがちな外国につながる子ども・若者を対象に、世代の近い高校生や大学生のボランティアが日本語を教えることで、楽しく活気あふれる日本語教室を開催した。そのために、高校・大学・市や県の教育委員会と幅広く連携した。また、「取組2:人材育成」も含めて、地域日本語教育コーディネーターや日本語指導者がボランティアの指導助言に当たった。						
	取組の内容		相模大野教室(CEMLA)では、相模女子大学の茜館をお借りし、毎週土曜日に2時間の日本語教室を開催した。指導には、高校・大学との連携において、相模原青陵高校や弥栄高校の生徒や、相模女子大学や桜美林大学等の学生がボランティアとしてあたった。学習者のレベルごとに4グループ(初級2、中級以上2)を作り、1グループにボランティア数人と地域日本語教育コーディネーターや日本語指導者を1人ずつ配置して、学生ボランティアの指導助言に当たった。						
	☐	空白地域を含む場合、空白地域での活動							
	取組による体制整備		当団体がこれまで文化庁の本事業の委託を受けて実施してきた実績を踏まえ、「取組:2」や「取組:3」と合わせて、運営会議や連絡協議会などを通じて、高校・大学と綿密に連携し、高校生や大学生のボランティアの確保や人材育成のための研修などを進めていった。						
	取組による日本語能力の向上		初級者・・・個別指導を中心として「みんなの日本語」「みんなの日本語文型練習帳」、「かんじ大すき」、自主作成教材などを用いて学習した。日本に来たばかりの若者が対象となるので、日常生活をおくる上で、日本語がわかり、使え、楽しいコミュニケーションが図れ、自信につながる学習を目標とした。学生ボランティアとの会話学習も生きた日本語学習として生かした。中級者以上・・・日本に来て1年～2年以上の若者が対象となるが、これまで本事業で委託を受けた自主教材を含めて、社会参加に向けたソーシャルスキルの向上やコミュニケーション能力の向上、情報化社会の基礎知識の取得、今日的な社会課題やニュースに対する理解と表現、自分の将来や自立に向けた課題解決のための表現及び言語活動などを行った。						
	参加対象者		神奈川県北部地域(相模原市、大和市、座間市、海老名市、厚木市、綾瀬市など)に定住する外国につながる若者で、来日間もない者や日本語学習を通して社会参加を考えている者				参加者数 (内 外国人数)	延べ1,362人 (1,120人)	
	広報及び募集方法		町村の行政窓口や地域の国際交流組織にチラシ等を配布し、広報 当団体のホームページやフェイスブックでの広報 地域の支援者や母語支援者を通してのロコミによる広報						
	開催時間数		総時間 72 時間(空白地域 時間)						
	主な連携・協働先		相模原青陵高校、弥栄高校、相模女子大学、桜美林大学、相模原市教育委員会、神奈川県教育委員会、さがみはら国際交流ラウンジ						
参加者の出身・国別内訳 (人数)		中国	ベトナム	ネパール	韓国	フィリピン	インドネシア	タイ	ブラジル
		153	12	58	34	325	0	32	54
		アメリカ(38人)、グリーンランド(19人)、コートジボアール(11人)、ボリビア(4人)、ペルー(34人)、ドミニカ(2人)、アルゼンチン(8人)、メキシコ(9人)、ポルトガル(15人)、ドイツ(5人)、ミャンマー(20人)、カンボジア(95人)、パキスタン(140人)、マレーシア(20人)、スリランカ(32人)、日本(242人)							
実施内容									
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組テーマ	内容	指導者名	補助者名	
1	平成29年5月6日 (土) 10:00～12:00	2	相模女子大学	42	自己紹介 基礎日本語力1 コミュニケーション力1	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やした。また、簡単な会話を楽しんだ。 中級 「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじだいすき」などを用いた学習を行った。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつけた。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習 ○初めの出会いを大切にするため、「自己紹介」を取り入れた。	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 山口静香 中原岩夫 妹背真理子 片山杏子	(交通費支給有) 武藤圭史 (交通費支給無) 16人	

2	平成29年5月13日 (土) 10:00～12:00	2	相模女子大学	52	基礎日本語力 2 コミュニケーション 力 2	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やした。また、簡単な会話を楽しんだ。 中級 「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」 「かんじだいすき」などを用いた学習を行った。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつけた。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習	藤井美香 蔡金燕 山口静香 中原岩夫 妹背真理子 片山杏子	(交通費支給有) 平野真理子 高橋祐介 フイエリカアーン (交通費支給無) 21人
3	平成29年5月20日 (土) 10:00～12:00	2	相模女子大学	51	基礎日本語力 3 コミュニケーション 力 3	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やした。また、簡単な会話を楽しんだ。 中級 「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」 「かんじだいすき」などを用いた学習を行った。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつけた。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 山口静香 中原岩夫 妹背真理子 片山杏子	(交通費支給) 下平晴彦 平野真理子 武藤圭史 高橋祐介 (交通費支給無) 19人
4	平成29年5月27日 (土) 10:00～12:00	2	相模女子大学	36	インタビューしよう 1 基礎日本語力 4 コミュニケーション 力 4	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やした。また、簡単な会話を楽しんだ。 中級 「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」 「かんじだいすき」などを用いた学習を行った。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつけた。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習 ○学習者がボランティアにインタビューする質問項目を考えた。	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 山口静香 中原岩夫 妹背真理子 片山杏子	(交通費支給有) 下平晴彦 武藤圭史 横田隆弘 (交通費支給無) 16人
5	平成29年6月3日 (土) 10:00～12:00	2	ユニコムプラザ さがみはら	42	インタビューしよう 2 基礎日本語力 5 コミュニケーション 力 5	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やした。また、簡単な会話を楽しんだ。 中級 「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」 「かんじだいすき」などを用いた学習を行った。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつけた。 ※大学生ボランティアへのインタビューの実施とまとめ 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習 ○学習者がボランティアに実際にインタビューした。	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 山口静香 中原岩夫 妹背真理子 片山杏子	(交通費支給有) 篠崎亜里沙 高橋祐介 平野真理子 フイエリカアーン 武藤圭史 (交通費支給無) 18人
6	平成29年6月10日 (土) 10:00～12:00	2	相模女子大学	42	インタビューしよう3 基礎日本語力6 コミュニケーション 力 6	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やした。また、簡単な会話を楽しんだ。 中級 「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」 「かんじだいすき」などを用いた学習を行った。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつけた。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習 ○学習者がボランティアにインタビューした答えの確認をした。	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 山口静香 中原岩夫 妹背真理子	(交通費支給有) 小谷美陽 教連恭輔 篠崎亜里沙 平野真理子 (交通費支給無) 16人
7	平成29年6月17日 (土) 10:00～12:00	2	相模女子大学	57	基礎日本語力 7 コミュニケーション 力 7	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やした。また、簡単な会話を楽しんだ。 中級 「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」 「かんじだいすき」などを用いた学習を行った。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつけた。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 山口静香 中原岩夫 妹背真理子	(交通費支給有) 岩崎幹男 教連恭輔 澤田拓也 篠崎亜里沙 高橋祐介 平野真理子 武藤圭史 (交通費支給無) 16人

8	平成29年6月24日 (土) 10:00～12:00	2	相模女子大学	42	基礎日本語力 8 コミュニケーション 力 8	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やした。また、簡単な会話を楽しんだ。 中級 「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」 「かんじだいすき」などを用いた学習を行った。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつけた。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 山口静香 中原岩夫 妹背真理子 片山杏子	(交通費支給有) 岩崎幹男 長岐文矢 武藤圭史 (交通費支給無) 19人
9	平成29年7月1日 (土) 10:00～12:00	2	相模女子大学	35	簡単な作文づくり 1 基礎日本語力 9 コミュニケーション 力 9	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やした。また、簡単な会話を楽しんだ。 中級 「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」 「かんじだいすき」などを用いた学習を行った。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつけた。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習 ○学習した語彙や文型を用いて、簡単な作文づくりをしてみる。	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 山口静香 中原岩夫 妹背真理子 片山杏子	(交通費支給有) 篠崎亜里沙 高橋和世 高橋祐介 フイエリカアーン 武藤圭史 (交通費支給無) 18人
10	平成29年7月8日 (土) 10:00～12:00	2	相模女子大学	52	簡単な作文づくり 2 基礎日本語力 10 コミュニケーション 力 10	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やした。また、簡単な会話を楽しんだ。 中級 「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」 「かんじだいすき」などを用いた学習を行った。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつけた。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習 ○前回は引き続き、簡単な作文づくり	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 山口静香 中原岩夫 妹背真理子 片山杏子	(交通費支給有) 平野真理子 (交通費支給無) 15人
11	平成29年7月15日 (土) 10:00～12:00	2	相模女子大学	49	交流会（大学生の留学体験発表） 基礎日本語力 11 コミュニケーション 力 11	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やした。また、簡単な会話を楽しんだ。 中級 「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」 「かんじだいすき」などを用いた学習を行った。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつけた。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習 ○留学体験のある大学生ボランティアの体験発表を聞く	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 山口静香 中原岩夫 妹背真理子 片山杏子	(交通費支給有) 篠崎亜里沙 長岐文矢 (交通費支給無) 14人
12	平成29年8月26日 (土) 10:00～12:00	2	相模女子大学	20	簡単な作文づくり 3 基礎日本語力 12 コミュニケーション 力 12	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やした。また、簡単な会話を楽しんだ。 中級 「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」 「かんじだいすき」などを用いた学習を行った。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつけた。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習 ○作った作文を紙に書いて張り出し、発表する。	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 山口静香 妹背真理子 片山杏子	(交通費支給有) 平野真理子 (交通費支給無) 5人
13	平成29年9月9日 (土) 10:00～12:00	2	相模女子大学	45	基礎日本語力 13 コミュニケーション 力 13	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やした。また、簡単な会話を楽しんだ。 中級 「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」 「かんじだいすき」などを用いた学習を行った。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつけた。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 山口静香 中原岩夫 妹背真理子 片山杏子	(交通費支給有) 澤田拓也 篠崎亜里沙 高橋祐介 武藤圭史 (交通費支給無) 20人

14	平成29年9月16日 (土) 10:00～12:00	2	相模女子大学	27	コミュニケーション トラブルを考えよう 1 基礎日本語力14 コミュニケーション 力14	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やした。また、簡単な会話を楽しんだ。 中級 「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」 「かんじだいすき」などを用いた学習を行った。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつけた。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習 ○自主教材「コミュニケーショントラブルを考えよう」を使った授業を実施	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 山口静香 中原岩夫 妹背真理子 片山杏子	(交通費支給有) 武藤圭史 (交通費支給無) 15人
15	平成29年9月23日 (土) 10:00～12:00	2	相模女子大学	39	基礎日本語力15 コミュニケーション 力15	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やした。また、簡単な会話を楽しんだ。 中級 「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」 「かんじだいすき」などを用いた学習を行った。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつけた。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 山口静香 中原岩夫 妹背真理子 片山杏子	(交通費支給有) 長岐文矢 平野真理子 武藤圭史 (交通費支給無) 16人
16	平成29年9月30日 (土) 10:00～12:00	2	相模女子大学	41	コミュニケーション トラブルを考えよう 2 基礎日本語力16 コミュニケーション 力16	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やした。また、簡単な会話を楽しんだ。 中級 「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」 「かんじだいすき」などを用いた学習を行った。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつけた。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習 ○自主教材「コミュニケーショントラブルを考えよう」を使った授業を実施	藤井美香 蔡金燕 山口静香 妹背真理子 片山杏子	(交通費支給有) 篠崎亜里沙 高橋祐介 武藤圭史 (交通費支給無) 13人
17	平成29年10月7日 (土) 10:00～12:00	2	相模女子大学	36	基礎日本語力17 コミュニケーション 力17	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やした。また、簡単な会話を楽しんだ。 中級 「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」 「かんじだいすき」などを用いた学習を行った。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつけた。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 蔡金燕 山口静香 山口静香 中原岩夫 妹背真理子 片山杏子	(交通費支給有) 篠崎亜里沙 高貴小百合 長岐文矢 平野真理子 武藤圭史 (交通費支給無) 13人
18	平成29年10月14日 (土) 10:00～12:00	2	相模女子大学	37	基礎日本語力18 コミュニケーション 力18	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やした。また、簡単な会話を楽しんだ。 中級 「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」 「かんじだいすき」などを用いた学習を行った。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつけた。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 蔡金燕 山口静香 山口静香 妹背真理子 片山杏子	(交通費支給有) 篠崎亜里沙 (交通費支給無) 15人
19	平成29年10月21日 (土) 10:00～12:00	2	相模女子大学	39	コミュニケーション トラブルを考えよう 3 基礎日本語力19 コミュニケーション 力19	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やした。また、簡単な会話を楽しんだ。 中級 「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」 「かんじだいすき」などを用いた学習を行った。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつけた。 ○自主教材「コミュニケーショントラブルを考えよう」を使った授業を実施	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 蔡金燕 山口静香 山口静香 中原岩夫 妹背真理子 片山杏子	(交通費支給有) 高貴小百合 高橋祐介 (交通費支給無) 13人

20	平成29年10月28日 (土) 10:00～12:00	2	相模女子大学	37	基礎日本語力 2 0 コミュニケーション 力 2 0	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やした。また、簡単な会話を楽しんだ。 中級 「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」 「かんじだいすき」などを用いた学習を行った。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつけた。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習	藤井美香 蔡金燕 山口静香 中原岩夫 妹背真理子 片山杏子 萩原カンナ	(交通費支給無) 15人
21	平成29年11月4日 (土) 10:00～12:00	2	相模女子大学	38	文化の違いからくる トラブル 1 基礎日本語力 2 1 コミュニケーション 力 2 1	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やした。また、簡単な会話を楽しんだ。 中級 「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」 「かんじだいすき」などを用いた学習を行った。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつけた。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習 ○自主教材「文化の違いからくるトラブルを考えよう」を使った授業を実施	佐屋麻利子 蔡金燕 山口静香 中原岩夫 妹背真理子 片山杏子	(交通費支給有) 中川温子 (交通費支給無) 17人
22	平成29年11月11日 (土) 10:00～12:00	2	相模女子大学	41	基礎日本語力 2 2 コミュニケーション 力 2 2	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やした。また、簡単な会話を楽しんだ。 中級 「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」 「かんじだいすき」などを用いた学習を行った。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつけた。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習	藤井美香 蔡金燕 山口静香 中原岩夫 妹背真理子 片山杏子 萩原カンナ	(交通費支給有) 教蓮恭輔 高貴小百合 中川温子 (交通費支給無) 14人
23	平成29年11月18日 (土) 10:00～12:00	2	相模女子大学	40	文化の違いからくる トラブル 2 基礎日本語力 2 3 コミュニケーション 力 2 3	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やした。また、簡単な会話を楽しんだ。 中級 「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」 「かんじだいすき」などを用いた学習を行った。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつけた。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習 ○自主教材「文化の違いからくるトラブルを考えよう」を使った授業を実施	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 山口静香 中原岩夫 妹背真理子 片山杏子 萩原カンナ	(交通費支給有) 佐藤伸昭 篠崎亜里沙 高貴小百合 中川温子 (交通費支給無) 15人
24	平成29年11月25日 (土) 10:00～12:00	2	相模女子大学	43	バイトすごろく・仕事すごろく 基礎日本語力 2 4 コミュニケーション 力 2 4	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やした。また、簡単な会話を楽しんだ。 中級 「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」 「かんじだいすき」などを用いた学習を行った。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつけた。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習 ○自主教材「バイトすごろく・仕事すごろく」を使った授業	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 山口静香 中原岩夫 妹背真理子 片山杏子 萩原カンナ	(交通費支給有) 佐藤伸昭 高貴小百合 中川温子 長岐文矢 磯貝亮弥 (交通費支給無) 7人
25	平成29年12月2日 (土) 10:00～12:00	2	相模女子大学	37	バイト先でのトラブルを考えよう 基礎日本語力 2 5 コミュニケーション 力 2 5	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やした。また、簡単な会話を楽しんだ。 中級 「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」 「かんじだいすき」などを用いた学習を行った。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつけた。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習 ○自主教材「コミュニケーショントラブルを考えよう」を使った授業を実施	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 山口静香 中原岩夫 妹背真理子 片山杏子 萩原カンナ	(交通費支給有) 佐藤伸昭 高貴小百合 中川温子 長岐文矢 平野真理子 黎靖雯 磯貝亮弥 (交通費支給無) 16人

26	平成29年12月9日 (土) 10:00～12:00	2	相模女子大学	29	基礎日本語力 2 6 コミュニケーション 力 2 6	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やした。また、簡単な会話を楽しんだ。 中級 「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」 「かんじだいすき」などを用いた学習を行った。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつけた。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 山口静香 中原岩夫 妹背真理子 片山杏子 萩原カナ	(交通費支給有) 佐藤伸昭 高貴小百合 長岐文矢 黎靖雯 磯貝亮弥 (交通費支給無) 9人
27	平成29年12月16日 (土) 10:00～12:00	2	相模女子大学	30	交流会(ゲーム・居 合道を見学) 基礎日本語力 2 7 コミュニケーション 力 2 7	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やした。また、簡単な会話を楽しんだ。 中級 「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」 「かんじだいすき」などを用いた学習を行った。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつけた。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習 ○交流会の実施	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 山口静香 中原岩夫 妹背真理子 萩原カナ	(交通費支給有) 高貴小百合 長岐文矢 黎靖雯 (交通費支給無) 2人
28	平成30年1月13日 (土) 10:00～12:00	2	神奈川総合産業高校	40	基礎日本語力 2 8 コミュニケーション 力 2 8	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級 絵カードを用いて語彙を増やした。また、簡単な会話を楽しんだ。 中級 自分のことノート」を使い、性格を表す言葉を学び、自分の長所と短所について作文 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 山口静香 中原岩夫 妹背真理子 片山杏子	(交通費支給有) 高貴小百合 長岐文矢 黎靖雯 (交通費支給無) 10人
29	平成30年1月20日 (土) 10:00～12:00	2	相模原市立大野南中学校	34	基礎日本語力 2 9 コミュニケーション 力 2 9	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級 絵カードを用いて語彙を増やした。また、簡単な会話を楽しんだ。 中級 自分のことノート」を使い、性格を表す言葉を学び、自分の長所と短所について作文 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 山口静香 中原岩夫 妹背真理子	(交通費支給有) 中川温子 平野真理子 (交通費支給無) 11人
30	平成30年1月27日 (土) 10:00～12:00	2	神奈川総合産業高校	41	会話力を高めよう 1 基礎日本語力 3 0 コミュニケーション 力 3 0	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級 絵カードを用いて語彙を増やした。また、簡単な会話を楽しんだ。 中級 自分のことノート」を使い、性格を表す言葉を学び、自分の長所と短所について作文 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習 ○面談や面接場面を想定しての会話練習 1	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 山口静香 中原岩夫 妹背真理子	(交通費支給有) 高貴小百合 (交通費支給無) 7人
31	平成30年2月3日 (土) 10:00～12:00	2	相模女子大学	31	季節行事(豆まき) 基礎日本語力 3 1 コミュニケーション 力 3 1	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級 絵カードを用いて語彙を増やした。また、簡単な会話を楽しんだ。 中級 自分のことノート」を使い、性格を表す言葉を学び、自分の長所と短所について作文 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習 ○豆まき体験	藤井美香 蔡金燕 山口静香 中原岩夫 妹背真理子	(交通費支給有) 高貴小百合 平野真理子 (交通費支給無) 8人

32	平成30年2月10日 (土) 10:00～12:00	2	相模女子大学	32	会話を高めよう2 基礎日本語力3 2 コミュニケーション 力3 2	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級 絵カードを用いて語彙を増やした。 また、簡単な会話を楽しんだ。 中級 自分のことノート」を使い、性格を 表す言葉を学び、自分の長所と短所につ いて作文 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「み んなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用 いた学習 ○面談や面接場面を想定しての会話練習2	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 山口静香 中原岩夫 妹背真理子	(交通費支給有) 佐藤伸昭 磯貝亮弥 長岐文矢 (交通費支給無) 10人
33	平成30年2月17日 (土) 10:00～12:00	2	相模女子大学	26	会話を高めよう3 基礎日本語力3 3 コミュニケーション 力3 3	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級 絵カードを用いて語彙を増やした。 また、簡単な会話を楽しんだ。 中級 自分のことノート」を使い、性格を 表す言葉を学び、自分の長所と短所につ いて作文 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「み んなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用 いた学習 ○面談や面接場面を想定しての会話練習3	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 山口静香 中原岩夫 妹背真理子	(交通費支給無) 7人
34	平成30年2月24日 (土) 10:00～12:00	2	相模女子大学	27	基礎日本語力3 4 コミュニケーション 力3 4	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級 絵カードを用いて語彙を増やした。 また、簡単な会話を楽しんだ。 中級 自分のことノート」を使い、性格を 表す言葉を学び、自分の長所と短所につ いて作文 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「み んなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用 いた学習	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 山口静香 中原岩夫 妹背真理子	(交通費支給無) 8人
35	平成30年3月3日 (土) 10:00～12:00	2	相模女子大学	32	基礎日本語力3 5 コミュニケーション 力3 5	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級 絵カードを用いて語彙を増やした。 また、簡単な会話を楽しんだ。 中級 自分のことノート」を使い、性格を 表す言葉を学び、自分の長所と短所につ いて作文 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「み んなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用 いた学習	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 妹背真理子 片山杏子	(交通費支給有) 佐藤伸昭 (交通費支給無) 10人
36	平成30年3月10日 (土) 10:00～12:00	2	相模女子大学	20	交流会(卒業する人 をお祝いしよう！) 基礎日本語力3 6 コミュニケーション 力3 6	日本語力と学習進度に応じた個別指導 初級は、絵カードを用いて語彙を増やし た。また、簡単な会話を楽しんだ。 中級 「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」 「かんじだいすき」などを用いた学習を 行った。さらには、簡単な読解教材を用 いて会話に結びつけた。 上級 新聞コラムの読み取り、作文、「み んなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用 いた学習、スピーチ発表 ○交流会の実施	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 山口静香 中原岩夫 妹背真理子 片山杏子	(交通費支給有) 佐藤伸昭 (交通費支給無) 5人

(1) 特徴的な活動風景(2～3回分)

○取組事例①

【第20回 平成29年10月28日】

通常の日本語教室の様子…

初級 絵カードを用いて語彙を増やした。また、簡単な会話を楽しんだ。

中級 「みんなの日本語・文型練習帳Ⅰ」「かんじだいすき」などを用いた学習を行った。さらには、簡単な読解教材を用いて会話に結びつけた。

上級 新聞コラムの読み取り、作文、「みんなの日本語・文型練習帳Ⅱ」などを用いた学習

学習の合間に、高校生や大学生ボランティアがハロウィンパーティーを行った。

各テーブルを回って、お菓子を配ったり、話しかけ、会話して盛り上がった。



○取組事例②

【第27回 平成29年12月16日】

通常の日本語教室の様子…初級、中級、上級に分かれて2つの場所に分かれて実施した。写真は小教室、日本語初級(写真左)

新規来所者(親子)に対してのインテーク相談(写真中)中国語話者の日本語スタッフと大学生ボランティアが聞き取り相談をし、今後CEMLAでの学習方針について確認した。

交流会の様子…日本の居合道の実演を行った。真剣に居合道を見つめる生徒たちの様子(写真右)刀が空気を切る音が教室に響いた。生徒の感想も「音がすごい」「初めて見た」「感動した」などであった。



○取組事例③

【第36回 平成30年3月10日】

通常の日本語教室の様子…初級、中級、上級に分かれて2つの場所に分かれて実施した。写真は大教室、日本語中上級(写真左)

交流会の様子…新聞紙を使ったファッションショーを行った。4つのグループに分かれて、それぞれにアイデアを出し合って作品を完成。全体でのファッションショー(写真中)

また、年度末の教室であったので、高校や大学を卒業するボランティアにこれまでお世話になってお礼としてみんなで作った色紙を渡した。(写真右)



(2) 目標の達成状況・成果

日本語教室は、36回実施して、延べ1,362名の学習者が参加した。昨年度に比べ開催数は1回少なかったが、参加者数は150名増えた。10代半ば、あるいは後半の外国につながる若者が学ぶ日本語教室としては、中学、高校、大学、教育委員会などの教育行政と地域の支援団体との連携によって、定着を図ることができた。また、大学生ボランティアが継続して参加してくれたことが、年間を通して活気のある教室運営につながった。また、日本人の高校生のボランティア参加も毎回4～6名あり、同世代同士の交流につながった。これらの成果を上げるために、大学生は毎回「CEMLA活動日誌」を記入してもらい、スタッフがコメントした。また、学習者も毎回大学生や高校生などのボランティアに対して、メモ用紙にコメントを書いてもらい、ボランティアが受け取る形式をとった。学習者へのアンケートやメモコメントの内容によって、学習者の満足度がつかめるとともに、ボランティアにとっても「やりがい」を感じたり、活動の定着がはかれたりした。

(3) 今後の改善点について

日本語の学習者は年々増加している。それは、「日本語を学ぶ」場としてクオリティの高さが評価されている面も大きい。が、大学生や高校生のボランティアが日本語指導者のアドバイスを基に指導に当たっているという、本教室の特徴が生かされているものとする。そうした点から、大学生や高校生のボランティアスタッフの確保や定着が図られたのは、大学や高校との連携によってこれまでの成果を学校側も理解し、ボランティア参加を促しているものとする。ボランティア活動の目的や意義を共有化しながら、定着を図っていきたい。こうした取り組みが、若い世代間での多文化共生の広がりにつながるものと確信している。

取組2	取組の名称		高校・大学と連携した学生ボランティア中心の活気ある日本語教室(相模大野教室CEMLA)における実践を通じた人材育成									
	取組の目標		高校生や大学生など若い世代の人たちが、地域に住む同世代の外国につながる若者に日本語を教える場として、「取組:1」の日本語教室において、日本語指導の実践を通して日本語教育に関心を持ったり、外国につながる子ども・若者のよき理解者となりうる人材育成を目的とした。									
	取組の内容		「取組:1」における日本語教室(相模大野教室CEMLA)において、高校生や大学生のボランティアがマンツーマンの日本語指導を実践的に行いながら、地域日本語教育コーディネーターや指導者が指導助言を教室の前後や随時的確に行い、若い世代のボランティア育成を行った。 「取組:1」の記述にあるように、学習グループは4つに分け、ボランティアを数人ずつ配置し、コーディネーターや指導者が用意した日本語教材や自主教材を用いてボランティアがマンツーマン形式で指導に当たった。コーディネーターや指導者は巡回しながら、指導の様子や学習者の状態を観察し、適宜指導助言した。 日本語教室の前後には、ボランティア向けの研修を随時行った。研修は実践的な日本語指導の方法など技術的なものを中心だが、同世代の学習者とボランティアが「共に学びあう姿勢」やこれからの多文化社会を生きる市民同士の「ともに新しい社会を作る姿勢」の醸成を念頭に置いた研修も取り入れた。 毎回、ボランティアは活動記録としてボランティア日誌に、活動内容や学習者の様子、反省事項等を記入し、担当のコーディネーターや指導者に提出した。提出を受けてコーディネーターや指導者がコメント・アドバイスした。									
	☐	空白地域を含む場合、空白地域での活動										
	取組による体制整備		当団体がこれまで文化庁の本事業の委託を受けて実施してきた実績を踏まえ、「取組:2」や「取組:3」と合わせて、運営会議や連絡協議会などを通じて、高校・大学と綿密に連携し、高校生や大学生のボランティアの確保や人材育成のための研修などを進めた。									
	取組による日本語能力の向上		日本語教室(相模大野教室CEMLA)における学習者(外国につながる子どもや若者)の日本語取得については、「取組:1」に記載済。 高校生や大学生のボランティアが日本語指導者の指導助言を受けながら、学習者の日本語習得のプログラムを実践した。									
	参加対象者		国際理解や多文化共生に関心があり、外国につながる子どもや若者への日本語ボランティアを希望する高校生や大学生				参加者数 (内 外国人数)		延べ562人 (90人)			
	広報及び募集方法		高校や大学を通じて、説明会などを実施して募集した。									
	開催時間数		総時間 108時間(空白地域 時間)									
	主な連携・協働先		相模原青陵高校、弥栄高校、相模女子大学、桜美林大学、相模原市教育委員会、神奈川県教育委員会、さがみはら国際交流ラウンジ									
	参加者の出身・国別内訳 (人数)	中国	ベトナム	ネパール	韓国	フィリピン	インドネシア	タイ	ブラジル			
		14	0	2	3	18	0	30	3	パキスタン(3人)、ペルー(2人)、ミャンマー(15人)、日本(472人)		
	実施内容											
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組テーマ	内容		指導者名	補助者名			
1	平成29年5月6日 (土) 10:00～13:00	3	相模女子大学	17	新規ボランティアを迎えよう	【教室開始時】 新規参加者向け(60分):CEMLAの概要説明、ボランティアとしてのルール等の確認、CEMLAの見学と日本語ボランティア体験 継続参加者向け(10分):日本語指導を行うにあたって、日本語ボランティアの実践 【教室開催時】日本語指導の実践。初級または中級の指導グループに入って日本語指導者の助言を受けながらの日本語指導の実践。 【教室終了後】(30分)指導者と振り返り、シートの記入、次回参加の確認 (研修30分)新規ボランティアを迎えて、お互いの自己紹介やボランティア参加の動機、不安な面へのアドバイスなど		佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 山口静香	中原岩夫 妹背真理子 片山杏子			
2	平成29年5月13日 (土) 10:00～13:00	3	相模女子大学	24	ボランティア同士の交流及び研修	【教室開始時】 新規参加者向け(60分):CEMLAの概要説明、ボランティアとしてのルール等の確認、CEMLAの見学と日本語ボランティア体験 継続参加者向け(10分):日本語指導を行うにあたって、日本語ボランティアの実践 【教室開催時】日本語指導の実践。初級または中級の指導グループに入って日本語指導者の助言を受けながらの日本語指導の実践。 【教室終了後】(30分)指導者と振り返り、シートの記入、次回参加の確認 (研修30分)新規ボランティアを迎えて、お互いの自己紹介やボランティア参加の動機、不安な面へのアドバイスなど		藤井美香 蔡金燕 山口静香	中原岩夫 妹背真理子 片山杏子			

3	平成29年5月20日 (土) 10:00～13:00	3	相模女子大学	23	ボランティアの心得 え(1)	【教室開始時】 新規参加者向け(60分):CEMLAの概要説明、ボランティアとしてのルール等の確認、CEMLAの見学と日本語ボランティア体験 継続参加者向け(10分):日本語指導を行うにあたって、日本語ボランティアの実践 【教室開催時】日本語指導の実践。初級または中級の指導グループに入って日本語指導者の助言を受けながらの日本語指導の実践。 【教室終了後】(30分)指導者と振り返り、シートの記入、次回参加の確認 (研修30分)ボランティアの心得として、外国につながる子どもたちの状況を考えた。	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 山口静香	中原岩夫 妹背真理子 片山杏子
4	平成29年5月27日 (土) 10:00～13:00	3	相模女子大学	19	ボランティアの心得 え(2)	【教室開始時】 新規参加者向け(60分):CEMLAの概要説明、ボランティアとしてのルール等の確認、CEMLAの見学と日本語ボランティア体験 継続参加者向け(10分):日本語指導を行うにあたって、日本語ボランティアの実践 【教室開催時】日本語指導の実践。初級または中級の指導グループに入って日本語指導者の助言を受けながらの日本語指導の実践。 【教室終了後】(30分)指導者と振り返り、シートの記入、次回参加の確認 (研修30分)ボランティアの心得として、外国につながる子どもたちの日本語(学習言語)取得のための指導のスキルアップ	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 山口静香	中原岩夫 妹背真理子 片山杏子
5	平成29年6月3日 (土) 10:00～13:00	3	ユニコムプラザ さがみはら	23	新規ボランティアを 迎えよう	【教室開始時】 新規参加者向け(60分):CEMLAの概要説明、ボランティアとしてのルール等の確認、CEMLAの見学と日本語ボランティア体験 継続参加者向け(10分):日本語指導を行うにあたって、日本語ボランティアの実践 【教室開催時】日本語指導の実践。初級または中級の指導グループに入って日本語指導者の助言を受けながらの日本語指導の実践。 【教室終了後】(30分)指導者と振り返り、シートの記入、次回参加の確認 (研修30分)新規ボランティアを迎えて、お互いの自己紹介やボランティア参加の動機、不安な面へのアドバイスなど	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 山口静香	中原岩夫 妹背真理子 片山杏子
6	平成29年6月10日 (土) 10:00～13:00	3	相模女子大学	20	ボランティア同士の 交流及び研修	【教室開始時】 新規参加者向け(60分):CEMLAの概要説明、ボランティアとしてのルール等の確認、CEMLAの見学と日本語ボランティア体験 継続参加者向け(10分):日本語指導を行うにあたって、日本語ボランティアの実践 【教室開催時】日本語指導の実践。初級または中級の指導グループに入って日本語指導者の助言を受けながらの日本語指導の実践。 【教室終了後】(30分)指導者と振り返り、シートの記入、次回参加の確認 (研修30分)新規ボランティアを迎えて、お互いの自己紹介やボランティア参加の動機、不安な面へのアドバイスなど	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 山口静香	中原岩夫 妹背真理子
7	平成29年6月17日 (土) 10:00～13:00	3	相模女子大学	22	7月15日の交流会の 企画検討・準備(1)	新規参加者向け:CEMLAの概要説明、ボランティアとしてのルール等の確認、CEMLAの見学と日本語ボランティア体験 継続参加者向け:日本語指導を行うにあたって、日本語ボランティアの実践 教室終了後、指導者と振り返り、シートの記入、次回参加の確認 7月15日の交流会に向けての企画検討・準備	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 山口静香	中原岩夫 妹背真理子
8	平成29年6月24日 (土) 10:00～13:00	3	相模女子大学	22	7月15日の交流会の 企画検討・準備(2)	【教室開始時】 新規参加者向け(60分):CEMLAの概要説明、ボランティアとしてのルール等の確認、CEMLAの見学と日本語ボランティア体験 継続参加者向け(10分):日本語指導を行うにあたって、日本語ボランティアの実践 【教室開催時】日本語指導の実践。初級または中級の指導グループに入って日本語指導者の助言を受けながらの日本語指導の実践。 【教室終了後】(30分)指導者と振り返り、シートの記入、次回参加の確認 (研修30分)7月15日の交流会に向けての企画検討・準備	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 山口静香	中原岩夫 妹背真理子 片山杏子
9	平成29年7月1日 (土) 10:00～13:00	3	相模女子大学	23	7月15日の交流会の 企画検討・準備(3)	【教室開始時】 新規参加者向け(60分):CEMLAの概要説明、ボランティアとしてのルール等の確認、CEMLAの見学と日本語ボランティア体験 継続参加者向け(10分):日本語指導を行うにあたって、日本語ボランティアの実践 【教室開催時】日本語指導の実践。初級または中級の指導グループに入って日本語指導者の助言を受けながらの日本語指導の実践。 【教室終了後】(30分)指導者と振り返り、シートの記入、次回参加の確認 (研修30分)7月15日の交流会に向けての企画検討・準備	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 山口静香	中原岩夫 妹背真理子 片山杏子

10	平成29年7月8日 (土) 10:00～13:00	3	相模女子大学	16	7月15日の交流会の 企画検討・準備(4)	【教室開始時】 新規参加者向け(60分):CEMLAの概要説明、 ボランティアとしてのルール等の確認、CEMLA の見学と日本語ボランティア体験 継続参加者向け(10分):日本語指導を行うに あたって、日本語ボランティアの実践 【教室開催時】日本語指導の実践。初級または 中級の指導グループに入って日本語指導者の 助言を受けながらの日本語指導の実践。 【教室終了後】(30分)指導者と振り返り、シート の記入、次回参加の確認 (研修30分)7月15日の交流会に向けての企画 検討・準備	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 山口静香	中原岩夫 妹背真理子 片山杏子
11	平成29年7月15日 (土) 10:00～13:00	3	相模女子大学	16	交流会を通して、外 国につながる子ども 若者との交流を図ろ う	【教室開始時】 新規参加者向け(60分):CEMLAの概要説明、 ボランティアとしてのルール等の確認、CEMLA の見学と日本語ボランティア体験 継続参加者向け(10分):日本語指導を行うに あたって、日本語ボランティアの実践 【教室開催時】日本語指導の実践。初級または 中級の指導グループに入って日本語指導者の 助言を受けながらの日本語指導の実践。 【教室終了後】(60分)交流会の実施	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 山口静香	中原岩夫 妹背真理子 片山杏子
12	平成29年8月26日 (土) 10:00～13:00	3	相模女子大学	6	学習者からの聴き取 り	【教室開始時】 新規参加者向け(60分):CEMLAの概要説明、 ボランティアとしてのルール等の確認、CEMLA の見学と日本語ボランティア体験 継続参加者向け(10分):日本語指導を行うに あたって、日本語ボランティアの実践 【教室開催時】日本語指導の実践。初級または 中級の指導グループに入って日本語指導者の 助言を受けながらの日本語指導の実践。 【教室終了後】(30分)指導者と振り返り、シート の記入、次回参加の確認 (研修30分)学習者からの聞き取りを行って、日 本語指導に役立てた。	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 山口静香	妹背真理子 片山杏子
13	平成29年9月9日 (土) 10:00～13:00	3	相模女子大学	24	新規ボランティアを 迎えよう	【教室開始時】 新規参加者向け(60分):CEMLAの概要説明、 ボランティアとしてのルール等の確認、CEMLA の見学と日本語ボランティア体験 継続参加者向け(10分):日本語指導を行うに あたって、日本語ボランティアの実践 【教室開催時】日本語指導の実践。初級または 中級の指導グループに入って日本語指導者の 助言を受けながらの日本語指導の実践。 【教室終了後】(30分)指導者と振り返り、シート の記入、次回参加の確認 (研修30分)新規ボランティアを迎えて、お互い の自己紹介やボランティア参加の動機、不安な 面へのアドバイスなど	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 山口静香	中原岩夫 妹背真理子 片山杏子
14	平成29年9月16日 (土) 10:00～13:00	3	相模女子大学	16	ボランティア同士の 交流及び研修	【教室開始時】 新規参加者向け(60分):CEMLAの概要説明、 ボランティアとしてのルール等の確認、CEMLA の見学と日本語ボランティア体験 継続参加者向け(10分):日本語指導を行うに あたって、日本語ボランティアの実践 【教室開催時】日本語指導の実践。初級または 中級の指導グループに入って日本語指導者の 助言を受けながらの日本語指導の実践。 【教室終了後】(30分)指導者と振り返り、シート の記入、次回参加の確認 (研修30分)新規ボランティアを迎えて、お互い の自己紹介やボランティア参加の動機、不安な 面へのアドバイスなど	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 山口静香	中原岩夫 妹背真理子 片山杏子
15	平成29年9月23日 (土) 10:00～13:00	3	相模女子大学	19	ボランティアの心得 え(1)	【教室開始時】 新規参加者向け(60分):CEMLAの概要説明、 ボランティアとしてのルール等の確認、CEMLA の見学と日本語ボランティア体験 継続参加者向け(10分):日本語指導を行うに あたって、日本語ボランティアの実践 【教室開催時】日本語指導の実践。初級または 中級の指導グループに入って日本語指導者の 助言を受けながらの日本語指導の実践。 【教室終了後】(30分)指導者と振り返り、シート の記入、次回参加の確認 (研修30分)ボランティアの心得として、外国に つながる子どもたちの状況を考えた。	佐屋麻利子 藤井美香 山口静香	中原岩夫 妹背真理子 片山杏子
16	平成29年9月30日 (土) 10:00～13:00	3	相模女子大学	16	ボランティアの心得 え(2)	【教室開始時】 新規参加者向け(60分):CEMLAの概要説明、 ボランティアとしてのルール等の確認、CEMLA の見学と日本語ボランティア体験 継続参加者向け(10分):日本語指導を行うに あたって、日本語ボランティアの実践 【教室開催時】日本語指導の実践。初級または 中級の指導グループに入って日本語指導者の 助言を受けながらの日本語指導の実践。 【教室終了後】(30分)指導者と振り返り、シート の記入、次回参加の確認 (研修30分)ボランティアの心得として、外国に つながる子どもたちの日本語(学習言語)取得 のための指導のスキルアップ	藤井美香 蔡金燕 山口静香	妹背真理子 片山杏子

17	平成29年10月7日 (土) 10:00～13:00	3	相模女子大学	18	多文化共生を考える	【教室開始時】 新規参加者向け(60分):CEMLAの概要説明、ボランティアとしてのルール等の確認、CEMLAの見学と日本語ボランティア体験 継続参加者向け(10分):日本語指導を行うにあたって、日本語ボランティアの実践 【教室開催時】日本語指導の実践。初級または中級の指導グループに入って日本語指導者の助言を受けながらの日本語指導の実践。 【教室終了後】(30分)指導者と振り返り、シートの記入、次回参加の確認 (研修30分)「多文化共生を考える」…マンガ「クラスメイトは外国人」を用いたワークショップの実施	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 山口静香	中原岩夫 妹背真理子 片山杏子
18	平成29年10月14日 (土) 10:00～13:00	3	相模女子大学	16	新規ボランティアを迎えよう	【教室開始時】 新規参加者向け(60分):CEMLAの概要説明、ボランティアとしてのルール等の確認、CEMLAの見学と日本語ボランティア体験 継続参加者向け(10分):日本語指導を行うにあたって、日本語ボランティアの実践 【教室開催時】日本語指導の実践。初級または中級の指導グループに入って日本語指導者の助言を受けながらの日本語指導の実践。 【教室終了後】(30分)指導者と振り返り、シートの記入、次回参加の確認 (研修30分)新規ボランティアを迎えて、お互いの自己紹介やボランティア参加の動機、不安な面へのアドバイスなど	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 山口静香	中原岩夫 妹背真理子 片山杏子
19	平成29年10月21日 (土) 10:00～13:00	3	相模女子大学	15	ボランティア同士の交流及び研修	【教室開始時】 新規参加者向け(60分):CEMLAの概要説明、ボランティアとしてのルール等の確認、CEMLAの見学と日本語ボランティア体験 継続参加者向け(10分):日本語指導を行うにあたって、日本語ボランティアの実践 【教室開催時】日本語指導の実践。初級または中級の指導グループに入って日本語指導者の助言を受けながらの日本語指導の実践。 【教室終了後】(30分)指導者と振り返り、シートの記入、次回参加の確認 (研修30分)新規ボランティアを迎えて、お互いの自己紹介やボランティア参加の動機、不安な面へのアドバイスなど	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 山口静香	中原岩夫 妹背真理子 片山杏子 萩原カンナ
20	平成29年10月28日 (土) 10:00～13:00	3	相模女子大学	15	ボランティアの心得え(1)	【教室開始時】 新規参加者向け(60分):CEMLAの概要説明、ボランティアとしてのルール等の確認、CEMLAの見学と日本語ボランティア体験 継続参加者向け(10分):日本語指導を行うにあたって、日本語ボランティアの実践 【教室開催時】日本語指導の実践。初級または中級の指導グループに入って日本語指導者の助言を受けながらの日本語指導の実践。 【教室終了後】(30分)指導者と振り返り、シートの記入、次回参加の確認 (研修30分)ボランティアの心得として、外国につながる子どもたちの状況を考えた。	藤井美香 蔡金燕 山口静香	中原岩夫 妹背真理子 片山杏子 萩原カンナ
21	平成29年11月4日 (土) 10:00～13:00	3	相模女子大学	18	ボランティアの心得え(2)	【教室開始時】 新規参加者向け(60分):CEMLAの概要説明、ボランティアとしてのルール等の確認、CEMLAの見学と日本語ボランティア体験 継続参加者向け(10分):日本語指導を行うにあたって、日本語ボランティアの実践 【教室開催時】日本語指導の実践。初級または中級の指導グループに入って日本語指導者の助言を受けながらの日本語指導の実践。 【教室終了後】(30分)指導者と振り返り、シートの記入、次回参加の確認 (研修30分)ボランティアの心得として、外国につながる子どもたちの日本語(学習言語)取得のための指導のスキルアップ	佐屋麻利子 蔡金燕 山口静香	中原岩夫 妹背真理子 片山杏子
22	平成29年11月11日 (土) 10:00～13:00	3	相模女子大学	18	学習者からの聴き取り	【教室開始時】 新規参加者向け(60分):CEMLAの概要説明、ボランティアとしてのルール等の確認、CEMLAの見学と日本語ボランティア体験 継続参加者向け(10分):日本語指導を行うにあたって、日本語ボランティアの実践 【教室開催時】日本語指導の実践。初級または中級の指導グループに入って日本語指導者の助言を受けながらの日本語指導の実践。 【教室終了後】(30分)指導者と振り返り、シートの記入、次回参加の確認 (研修30分)学習者からの聞き取りを行って、日本語指導に役立てた。	藤井美香 蔡金燕 山口静香	中原岩夫 妹背真理子 片山杏子 萩原カンナ
23	平成29年11月18日 (土) 10:00～13:00	3	相模女子大学	20	12月16日の交流会の企画検討・準備(1)	【教室開始時】 新規参加者向け(60分):CEMLAの概要説明、ボランティアとしてのルール等の確認、CEMLAの見学と日本語ボランティア体験 継続参加者向け(10分):日本語指導を行うにあたって、日本語ボランティアの実践 【教室開催時】日本語指導の実践。初級または中級の指導グループに入って日本語指導者の助言を受けながらの日本語指導の実践。 【教室終了後】(30分)指導者と振り返り、シートの記入、次回参加の確認 (研修30分)12月16日の交流会に向けての企画検討・準備	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 山口静香	中原岩夫 妹背真理子 片山杏子 萩原カンナ

24	平成29年11月25日 (土) 10:00~13:00	3	相模女子大学	14	12月16日の交流会 の企画検討・準備(2)	【教室開始時】 新規参加者向け(60分):CEMLAの概要説明、 ボランティアとしてのルール等の確認、CEMLA の見学と日本語ボランティア体験 継続参加者向け(10分):日本語指導を行うに あたって、日本語ボランティアの実践 【教室開催時】日本語指導の実践。初級または 中級の指導グループに入って日本語指導者の 助言を受けながらの日本語指導の実践。 【教室終了後】(30分)指導者と振り返り、シート の記入、次回参加の確認 (研修30分)12月16日の交流会に向けての企 画検討・準備	佐屋麻利子 蔡金燕 山口静香	中原岩夫 妹背真理子 片山杏子 萩原カンナ
25	平成29年12月2日 (土) 10:00~13:00	3	相模女子大学	14	12月16日の交流会 の企画検討・準備(3)	【教室開始時】 新規参加者向け(60分):CEMLAの概要説明、 ボランティアとしてのルール等の確認、CEMLA の見学と日本語ボランティア体験 継続参加者向け(10分):日本語指導を行うに あたって、日本語ボランティアの実践 【教室開催時】日本語指導の実践。初級または 中級の指導グループに入って日本語指導者の 助言を受けながらの日本語指導の実践。 【教室終了後】(30分)指導者と振り返り、シート の記入、次回参加の確認 (研修30分)12月16日の交流会に向けての企 画検討・準備	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 山口静香	中原岩夫 妹背真理子 片山杏子 萩原カンナ
26	平成29年12月9日 (土) 10:00~13:00	3	相模女子大学	14	12月16日の交流会 の企画検討・準備(4)	【教室開始時】 新規参加者向け(60分):CEMLAの概要説明、 ボランティアとしてのルール等の確認、CEMLA の見学と日本語ボランティア体験 継続参加者向け(10分):日本語指導を行うに あたって、日本語ボランティアの実践 【教室開催時】日本語指導の実践。初級または 中級の指導グループに入って日本語指導者の 助言を受けながらの日本語指導の実践。 【教室終了後】(30分)指導者と振り返り、シート の記入、次回参加の確認 (研修30分)12月16日の交流会に向けての企 画検討・準備	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 山口静香	中原岩夫 妹背真理子 片山杏子 萩原カンナ
27	平成29年12月16日 (土) 10:00~13:00	3	相模女子大学	5	当事者の先輩の話を 聴こう	【教室開始時】 新規参加者向け(60分):CEMLAの概要説明、 ボランティアとしてのルール等の確認、CEMLA の見学と日本語ボランティア体験 継続参加者向け(10分):日本語指導を行うに あたって、日本語ボランティアの実践 【教室開催時】日本語指導の実践。初級または 中級の指導グループに入って日本語指導者の 助言を受けながらの日本語指導の実践。 【教室終了後】(60分)交流会の実施	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 山口静香	中原岩夫 妹背真理子 萩原カンナ
28	平成30年1月13日 (土) 10:00~13:00	3	神奈川総合産 業高校	13	新規ボランティアを 迎えよう	【教室開始時】 新規参加者向け(60分):CEMLAの概要説明、 ボランティアとしてのルール等の確認、CEMLA の見学と日本語ボランティア体験 継続参加者向け(10分):日本語指導を行うに あたって、日本語ボランティアの実践 【教室開催時】日本語指導の実践。初級または 中級の指導グループに入って日本語指導者の 助言を受けながらの日本語指導の実践。 【教室終了後】(30分)指導者と振り返り、シート の記入、次回参加の確認 (研修30分)新規ボランティアを迎えて、お互い の自己紹介やボランティア参加の動機、不安な 面へのアドバイスなど	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 山口静香	中原岩夫 妹背真理子 片山杏子
29	平成30年1月20日 (土) 10:00~13:00	3	相模原市立大 野南中学校	13	ボランティア同士の 交流及び研修	【教室開始時】 新規参加者向け(60分):CEMLAの概要説明、 ボランティアとしてのルール等の確認、CEMLA の見学と日本語ボランティア体験 継続参加者向け(10分):日本語指導を行うに あたって、日本語ボランティアの実践 【教室開催時】日本語指導の実践。初級または 中級の指導グループに入って日本語指導者の 助言を受けながらの日本語指導の実践。 【教室終了後】(30分)指導者と振り返り、シート の記入、次回参加の確認 (研修30分)新規ボランティアを迎えて、お互い の自己紹介やボランティア参加の動機、不安な 面へのアドバイスなど	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 山口静香	中原岩夫 妹背真理子
30	平成30年1月27日 (土) 10:00~13:00	3	神奈川総合産 業高校	8	学習者からの聴き取 り	【教室開始時】 新規参加者向け(60分):CEMLAの概要説明、 ボランティアとしてのルール等の確認、CEMLA の見学と日本語ボランティア体験 継続参加者向け(10分):日本語指導を行うに あたって、日本語ボランティアの実践 【教室開催時】日本語指導の実践。初級または 中級の指導グループに入って日本語指導者の 助言を受けながらの日本語指導の実践。 【教室終了後】(30分)指導者と振り返り、シート の記入、次回参加の確認 (研修30分)学習者からの聞き取りを行って、日 本語指導に役立てた。	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 山口静香	中原岩夫 妹背真理子

31	平成30年2月3日 (土) 10:00～13:00	3	相模女子大学	10	多文化共生を考える	【教室開始時】 新規参加者向け(60分):CEMLAの概要説明、ボランティアとしてのルール等の確認、CEMLAの見学と日本語ボランティア体験 継続参加者向け(10分):日本語指導を行うにあたって、日本語ボランティアの実践 【教室開催時】日本語指導の実践。初級または中級の指導グループに入って日本語指導者の助言を受けながらの日本語指導の実践。 【教室終了後】(30分)指導者と振り返り、シートの記入、次回参加の確認 (研修30分)「多文化共生を考える」…マンガ「クラスメイトは外国人」を用いたワークショップの実施	藤井美香 蔡金燕 山口静香	中原岩夫 妹背真理子
32	平成30年2月10日 (土) 10:00～13:00	3	相模女子大学	13	3月10日の交流会の 企画検討・準備(1)	【教室開始時】 新規参加者向け(60分):CEMLAの概要説明、ボランティアとしてのルール等の確認、CEMLAの見学と日本語ボランティア体験 継続参加者向け(10分):日本語指導を行うにあたって、日本語ボランティアの実践 【教室開催時】日本語指導の実践。初級または中級の指導グループに入って日本語指導者の助言を受けながらの日本語指導の実践。 【教室終了後】(30分)指導者と振り返り、シートの記入、次回参加の確認 (研修30分)3月10日の交流会に向けての企画検討・準備	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 山口静香	中原岩夫 妹背真理子
33	平成30年2月17日 (土) 10:00～13:00	3	相模女子大学	7	3月10日の交流会の 企画検討・準備(2)	【教室開始時】 新規参加者向け(60分):CEMLAの概要説明、ボランティアとしてのルール等の確認、CEMLAの見学と日本語ボランティア体験 継続参加者向け(10分):日本語指導を行うにあたって、日本語ボランティアの実践 【教室開催時】日本語指導の実践。初級または中級の指導グループに入って日本語指導者の助言を受けながらの日本語指導の実践。 【教室終了後】(30分)指導者と振り返り、シートの記入、次回参加の確認 (研修30分)3月10日の交流会に向けての企画検討・準備	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 山口静香	中原岩夫 妹背真理子
34	平成30年2月24日 (土) 10:00～13:00	3	相模女子大学	8	3月10日の交流会の 企画検討・準備(3)	【教室開始時】 新規参加者向け(60分):CEMLAの概要説明、ボランティアとしてのルール等の確認、CEMLAの見学と日本語ボランティア体験 継続参加者向け(10分):日本語指導を行うにあたって、日本語ボランティアの実践 【教室開催時】日本語指導の実践。初級または中級の指導グループに入って日本語指導者の助言を受けながらの日本語指導の実践。 【教室終了後】(30分)指導者と振り返り、シートの記入、次回参加の確認 (研修30分)3月10日の交流会に向けての企画検討・準備	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 山口静香	中原岩夫 妹背真理子
35	平成30年3月3日 (土) 10:00～13:00	3	相模女子大学	11	3月10日の交流会の 企画検討・準備(4)	【教室開始時】 新規参加者向け(60分):CEMLAの概要説明、ボランティアとしてのルール等の確認、CEMLAの見学と日本語ボランティア体験 継続参加者向け(10分):日本語指導を行うにあたって、日本語ボランティアの実践 【教室開催時】日本語指導の実践。初級または中級の指導グループに入って日本語指導者の助言を受けながらの日本語指導の実践。 【教室終了後】(30分)指導者と振り返り、シートの記入、次回参加の確認 (研修30分)3月10日の交流会に向けての企画検討・準備	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕	妹背真理子 片山杏子
36	平成30年3月10日 (土) 10:00～13:00	3	相模女子大学	6	年度の最後のまとめ として、お互いに出 会いや学びを感謝し 合おう	【教室開始時】 新規参加者向け(60分):CEMLAの概要説明、ボランティアとしてのルール等の確認、CEMLAの見学と日本語ボランティア体験 継続参加者向け(10分):日本語指導を行うにあたって、日本語ボランティアの実践 【教室開催時】日本語指導の実践。初級または中級の指導グループに入って日本語指導者の助言を受けながらの日本語指導の実践。 【教室終了後】(60分)交流会の実施	佐屋麻利子 藤井美香 蔡金燕 山口静香	中原岩夫 妹背真理子 片山杏子

(1) 特徴的な活動風景(2～3回分)

○取組事例①

【第4回 平成29年5月27日】

ボランティアの人材育成として行なった研修会の様子である。ボランティアと日本語指導者がグループになって、グループワークを行った。(写真左)

グループワークでは、互いに自己紹介をしあい、次のような内容で話し合いを行った。

- ・なぜCEMLAに興味を持つようになったか。
- ・日本語指導する中で感じたことや困ったことなど
- ・学習者について、関わってみたらどう感じたか。日本語指導のやりがいについて

こうした話し合いを行うことで、ボランティアが日本語指導者と日常的に疑問や質問をぶつけあう素地ができ、スムーズな運営につながる。グループワークの後には日本語指導者から、学習者についてや日本語指導について考慮すべき点などの講話を行った。(写真右)



○取組事例②

【第11回 平成29年7月15日】

ボランティアの人材育成の一環として、交流会の企画運営をボランティアが行った。交流会は年3回行なった。

7月の交流会は、ボランティアが考えた伝言ゲームで学習者の中にボランティアも混じって4つのグループを作り、与えられた言葉を伝言で伝えていく。(写真左、中)

伝言ゲームの後グループごとにお菓子を食べたり、飲み物を飲んだりしながら、学習者と楽しく会話をしていた。



(2) 目標の達成状況・成果

人材育成としてのボランティアの高校生や大学生の参加は、延べ562名と昨年に比べて大幅に増加した。(昨年度比約1.5倍)

高校生は3つ高校(相模原青陵高校、弥栄高校、相模女子大学付属高校)から参加した。大学は10大学(相模女子大学、桜美林大学、フェリス学院大学、東海大学、明治大学、横浜国立大学、東京理科大学、帝京大学、横浜国立大学、麻布大学)から参加した。外国につながる若者にとっても同世代の日本人の高校生や大学生と接する機会が少ない中、共に日本語を学びあったり、お互いの文化を知り合ったりするこうした場は貴重な場になってくると思う。学習者は、「ボランティアが親切で、楽しい」「日本語がわかりやすい」「大学に興味を持った」などボランティアに好印象を持っている。また、ボランティア側は、「学習者がまじめ」「いろいろな国のことが知れる」「学校でも外国につながる生徒によく挨拶するようになった」など、学習者への理解やボランティアの意識向上につながった。

(3) 今後の改善点について

若い世代のボランティアの人材育成は、本事業の大きな柱であるが、高校や大学との連携によって、着実に成果を上げている。今年度ボランティアと日本語指導者・スタッフとの研修機会や交流機会を大幅に増やしたことも成果につながった。ボランティア自身が役割意識ややりがいなどを感じてくれたものと考えているが、これは研修が押し付けでなく、自主的なものであるからこそ、得られた成果であると思う。ボランティア担当の役割分担をスタッフの中に位置づけたことも良かったが、その仕事内容をさらに精査し、ボランティアがどのように育っていくかを成果として表せるような取り組みをしたい。

＜取組3＞				
取組 3	取 組 の 名 称		行政機関と学校(中学・高校・大学)と地域を結ぶライフコースに沿った日本語教育体制整備のための連絡協議会、研究会、セミナーの実施	
	取 組 の 目 標		「取組:1」「取組:2」の高校や大学との連携、それに伴う地域や行政機関との連携の体制を整備し、本事業の定着を図り、課題や成果を共有しながら地域に発信していく目的で連絡協議会を4回、研究会を2回、セミナーを1回実施した。	
	取 組 の 内 容		連絡協議会を5月と7月と9月と2月に、研究会を6月と10月に、セミナーを11月に実施した。 ○連絡協議会は運営会議の所属団体の実務者に参加を呼びかけ、本事業の成果の発信方法や研究会・セミナーの内容検討。準備などを中心に行った。 ○研究会は次のような内容の講話を行い、意見交換した。 研究会(5月)・・・「外国につながる若者の就労について」(講師 高橋清樹氏) 研究会(10月)・・・「家族滞在の若者の進学や就職について」(講師 高橋徹氏) ○セミナーは、高校の先生方や大学や地域の日本語教育に関わる幅広い人たちを対象に11月25日(土)に相模女子大学で実施した。(参加者総数39名) 参加者は次の4つの分科会に分かれて、講師から講演を聴いた後、自分の活動の中で外国につながる若者とのかわりや現在抱えている課題などを出し合い協議した。 11:00 ～ 11:30 CEMLAスクール 見学会(茜館) 12:00 ～ 13:00 昼食&懇談会(茜館) 13:00 ～ 14:30 テーマ別分科会 (マーガレット本館) 分科会A「わかりやすい日本語とは」 ゲストスピーカー(樋口万喜子先生) 分科会B「個別対応授業における効果的な指導法」 ゲストスピーカー(愛川高校 梅田行人先生)(相模原青陵高校 角谷とし子先生)(相模原青陵高校 大場元晴先生) 分科会C「外国につながる若者の就職」ゲストスピーカー(カンボジア語通訳 露木ピネラさん)(桜美林大学4年 柳下亜依奈さん) 分科会D「発達障がいと思われる生徒の支援」 ゲストスピーカー(多文化フリースクール 李源翔先生)	
	☐	空白地域を含む場合、空白地域での活動		
	取組による体制整備		「取組:1」「取組:2」の定着を図り、課題や成果を共有しながら、地域に発信していくためには、協議会的な形式で実務者レベルで連携組織が不可欠である。運営会議の所属団体の実務者に参加を呼びかけ、連絡協議会を4回、さらには地域に広く参加を呼びかけての研究会を2回、セミナーを1回実施し、体制整備を図った。	
	取組による日本語能力の向上			
	参加対象者	教育委員会や行政機関の職員、中学校・高校・大学の教員 地域の日本語指導者、相模大野教室のボランティア	参加者数 (内 外国人数)	セミナーの参加者54人 (7 人)
	広報及び募集方法	セミナーについては、チラシを作成し、教育委員会や大学・高校・中学・公共施設・国際交流団体に郵送し、配架し広報した。また、SNSを使って広報した。		
	開催時間数	総時間 21時間(空白地域 時間)	1回 3時間 × 7 回	
主な連携・協働先	相模原青陵高校、弥栄高校、相模女子大学、桜美林大学、相模原市教育委員会、神奈川県教育委員会、県央地域若者サポートステーション、相模原若者サポートステーション			

(1) 特徴的な活動風景(2～3回分)

○取組事例①

【第3回連絡協議会 平成29年9月16日】

議題: 後期日程での教室運営の検討。運営委員会及び研究会及びセミナーの検討

後期日程の開始にあたって、改善すべき教室運営の方法等について検討した。また、運営委員会や研究会の議題や講師など検討した。



○取組事例②

【CEMLAセミナー 平成29年11月25日 相模女子大学にて】

11:00 ～ 11:30 CEMLAスクール 見学会(茜館) 12:00 ～ 13:00 昼食&懇談会(茜館)

13:00 ～ 14:30 テーマ別分科会 (マーガレット本館)

分科会A 「わかりやすい日本語とは」 ゲストスピーカー(樋口万喜子先生)

分科会B 「個別対応授業における効果的な指導法」

ゲストスピーカー(愛川高校 梅田行人先生)(相模原青陵高校 角谷とし子先生)(相模原青陵高校 大場元晴先生)

分科会C 「外国につながる若者の就職」ゲストスピーカー(カンボジア語通訳 露木ピネラさん)(桜美林大学4年 柳下亜依奈さん)

分科会D 「発達障がいと思われる生徒の支援」 ゲストスピーカー(多文化フリースクール 李源翔先生)

CEMLAセミナーは地域に開かれた研修・交流の場として相模女子大学で実施した。4つの分科会に分かれてのテーマ別分科会のテーマは、CEMLA研究会などでテーマ案を募集して今日的な話題を取り上げて実施した。

分科会1では、わかりやすい日本語になっているかを先生方に実感してもらうためのグループワークを取り入れながら実施し、効果を上げているとのお話が合った。「わかりやすい日本語」という考え方は、一般的に教員や支援者にとって必要なものである、ぜひ普及してほしい、との意見が出た。分科会2では、高校に入学した日本語指導が必要な生徒の個別対応授業(取り出し授業)について、実践されている3名の先生が実践報告をされた。視覚的なものを取り入れた自主教材の作成や生徒を巻き込んだアクティブラーニングなど効果的な指導法を紹介してくださり、参加者からは、こうした研修機会を増やして欲しい、との要望が出た。

分科会3では、当事者としての外国につながる若者の就職のまつわる体験談を話してもらった。外国につながる若者が就職するには、当事者にとっても未開の分野における経験で、どのような活動をしていったらいいか、教えてくれる人もいない中で孤立無援の活動になっているとの報告があった。残念ながら社会の無理解もあり、外国人というだけで目に見えない差別を受ける実態も報告され、この分野での支援活動の広がりを期待する声が多かった。

分科会4では、発達障害のある外国につながる子どもの支援について、中国出身で臨床心理士の李さんがゲストスピーカーとしてお話ししてくださいました。発達障害の認定はとても難しいうえに、発達障害の疑いというところで、学校や周囲との関係の中で本人が2次障害を抱えてしまうケースがあり、個別対応の重要性をお話ししてくださいました。まだまだ、研究や実践が進んでいない分野で、今後もこのテーマでの研修機会を求める声が多かった。



(2) 目標の達成状況・成果

・取組み3は、取組み1や2の外国につながる若者の支援やボランティアの人材育成といった活動の下支えとなる高校や大学との連携会議の実施という目的で行われたが、着実に会議での情報共有がなされたと考える。CEMLAセミナーについては、後述のように参加者が少なかったとの反省があるが、セミナーの必要性は参加したの方からも上がっており、広報の仕方や開催時期などを工夫しながら、実施していく必要性を感じた。

(3) 今後の改善点について

・連絡協議会は当団体(NPO)と高校、大学の連携強化のために重要な役割を担い、その拡大版としてのCEMLA研究会、さらに地域に開かれたCEMLAを知ってもらう機会としてのCEMLAセミナーと、それぞれの目的や段階としてこの取り組みを実施した。残念ながら、CEMLAセミナーは予想していた参加人数より参加者が少なく、開催時期や広報手段の見直しが必要であると感じた。複数の高校や大学、支援団体を巻き込んだCEMLAセミナーの準備委員会のようなものを作っていくことも必要ではないかと感じた。

＜取組4＞					
取組4	取組の名称		高校生や大学生ボランティアのための「研修用ビデオ教材」の作成と啓発		
	取組の目標		高校生や大学生が外国につながる子ども・若者の日本語ボランティアを行うことの意義は大変大きいので、「取組：1」や「取組：2」の具体的な取り組み内容をわかりやすくまとめた啓発ビデオを制作し、高校や大学生の日本語ボランティアの普及・拡大に寄与することを目的とした。		
	取組の内容		本事業の「取組：1」や「取組：2」の日本語教室や人材育成研修において、実際に日本語を指導している様子や教材などをビデオに編集し、「研修用ビデオ教材」を作成した。 また、日本語指導の教材もボランティアのスキルアップを図る研修教材として作成した。この教材は、どのように修正することでわかり易い教材になるのかを考える教材である。 ビデオの作成にあたってはコーディネーター／指導者及びビデオ作成の作業担当者計 8名が、編集会議を10回（10時間）行ってビデオの内容検討やスクリプトの作成を行った。 指導者（アドバイザー）として、宇都宮大学国際学部若林氏の助言を仰いだ。 具体的な内容としては、次の通りである。ビデオは10回分（各10分）作成した。 ①外国につながる子どもとは ②外国につながる子どもの日本語学習支援の重要性 ③支援者の心得 ④CEMLAの紹介 ⑤日本語をまなぼう 第1章 ⑥日本語をまなぼう 第2章 ⑦日本語をまなぼう 第3章 ⑧日本語をまなぼう 第4章 ⑨日本語をまなぼう 第5章 ⑩CEMLAの様子（先生から）		
	☐	空白地域を含む場合、空白地域での活動			
	取組による体制整備		「研修ビデオ」を作成し、他の日本語教室に提供することで、高校生や大学生による日本語ボランティアの普及拡大につながった。		
	取組による日本語能力の向上		「研修ビデオ」を作成し、他の日本語教室に提供することで、高校生や大学生による日本語ボランティアの普及拡大につながり、間接的に外国につながる子ども・若者の日本語取得の規格拡大につながった。		
	参加対象者		ビデオ作成にあたっては4名の若者とコーディネーター／指導者の計9名で作成した。	<table border="1"> <tr> <td>参加者数 (内 外国人数)</td> <td>9人 (2人)</td> </tr> </table>	参加者数 (内 外国人数)
参加者数 (内 外国人数)	9人 (2人)				
広報及び募集方法					
開催時間数		総時間 100分（空白地域 時間）			
主な連携・協働先		相模原青陵高校、弥栄高校、相模女子大学、桜美林大学、相模原市教育委員会、神奈川県教育委員会、県央地域若者サポートステーション、相模原若者サポートステーション			

(1) 特徴的な活動風景(2～3回分)

作成動画

①外国につながる子どもとは ②外国につながる子どもの日本語学習支援の重要性 ③支援者の心得
④CEMLAの紹介 ⑤～⑨日本語をまなぼう 第1章～第5章 ⑩CEMLAの様子（先生からの一場面）



(2) 目標の達成状況・成果

・ビデオ教材は若者3名が中心となって作成し、完成した。
シナリオの作成や教室での学習者やスタッフへの聞き取り、動画の撮影、編集、最終チェックまで、3名は精力的に動画作成に取り組んだ。
3名の内、1名はナイジェリアにルーツを持つ20代半ばの若者で、自分自身が当事者として日本で生活し、体験してきたことを次世代の若者に伝えたいという強い思いで、このビデオ作成に当たった。また、スタッフと意見交換を重ねながら作成した内容で、直ぐに研修の場で使えるこのとなった。次年度は様々な機会をとらえて、ビデオを活用していきたい。

(3) 今後の改善点について

・ボランティア研修の目的と日本語学習用に試行的に作ったビデオ教材と2分されるが、前者はすぐに使用できる制度の高いものとなったが、後者はさらに実用的なものにする必要がある。当教室の学習者のニーズに合わせた内容に吟味しながら、次年度以降改善したものを作成していきたい。

4. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的・目標

・当団体がこれまで文化庁の委託事業(「生活者としての外国人」のための日本語教育事業 地域日本語教育実践プログラム(A))の実績により構築された、幅広い地域連携を生かして、高校生や大学生(外国につながる当事者も含む)の活用による外国につながる子ども・若者のライフコースに沿った日本語教育支援体制の構築を図ることを目的として実施した。また、連携によってさまざまな団体との連携が構築し、セミナーなどの成果を発信する場を作り、先駆的な取り組みとして他地域にも広げることが目的として実施した。

(2) 目的・目標の達成状況・事業の成果

・日本語教室の実施、ボランティアの人材育成、地域連携による運営やセミナーの実施、ビデオ教材の作成という4つの柱はいずれも予定通り、実施し成果を上げることができた。事業も目的にあるように「外国につながる若者」が本教室のような場所を求めているというニーズがあり、当事者だけでなく多くの支援者の参加(ボランティア参加延べ562人や見学者数約120人)からもわかる。また、学習者へのアンケートの満足度から言える。日本語教室と並行してボランティアの人材育成を実施したが、高校生や大学生のボランティアが安定して参加した。それは日本語指導者とボランティアのグループ指導体制の成果が大きかった。ボランティアがその日の振り返りをボランティア日誌に書き留め、指導者がコメントを書くというやりとりも有効であった。ボランティアが毎回新鮮な発見をコメントに寄せていた。今後もこの体制を維持して、多くの外国につながる若者が社会参加を果たす場として機能させ、さらにはロールモデルとして次の世代の若者に対する意識付けをもたらす好循環が起きよう働きかけたい。

(3) 地域の関係者との連携による効果、成果 等

・相模原日本語教室(CEMLA教室)は、地域の支援者が新規学習者を伴って来訪することも多く、見学者だけでも総数は100名を超えている。また、相模原市教育委員会をはじめとした各市(大和市、海老名市、厚木市、横浜市)の教育委員会とも連携を図っているため、連携は各地域でそれぞれの中学校や日本語教室などと連携がなされている。いくつか例をあげると、①相模原市内の日本語学習教室の連携会議が相模原市教育委員会の呼びかけで昨年度は2回開催された。②厚木市・横浜市・藤沢市・川崎市の教育委員会の国際教室等担当者会議やさがみはら国際交流ラウンジ・あーすぷらざ教育相談・横浜市国際交流ラウンジなどの研修会に講師を派遣し、CEMLA教室の状況や実践報告を行った。上記のような活動を通して地域との連携や発信などを行った。

(4) 事業実施に当たった周知・広報と、事業成果の地域への発信等について

・相模原日本語教室(CEMLA教室)についての広報は、地域の中学校や高等学校及び日本語教室や学習教室のある公共施設にチラシを設置するなど、対象となる相模原、大和、座間、海老名、厚木、藤沢をはじめ、遠くは秦野、愛川町、横浜、川崎からも学習者がやってきました。「どこでCEMLA教室の存在を知ったのか？」尋ねてみると、日本語指導者や中学校の先生など支援者からの勧めによるものが多かった。教育委員会や学校連携による成果である。また、同じ国の出身者同士のコミュニティでCEMLAを紹介されてやってきたケースも多くあった。CEMLAの実績が様々な場で認められている証だと考える。

(5) 改善点、今後の課題について

・一昨年度から日本語のレベルによってグループ分けをして、5つのグループに学習者を振り分け、それぞれのグループに大学生ボランティアを配置してマンツーマンで指導する形式をとった。各グループには指導者を配置して教材の選定やボランティアへの助言など行い、ボランティアが不安に思ったり、課題に感じたことに対してすぐ対応できるようにした。また、今年度は、教室の時間帯以外にもボランティアと日本語指導者との研修機会を増やし、教室での実践経験と研修を連携させながら、ボランティアのスキルアップを図った。改善点としては、安定した財政基盤づくりである。そのためにも本事業の意義を社会に知らしめ、寄付を集める工夫を図っていきたい。

(6) その他参考資料

・成果物として取り組み3のビデオ教材